

11 高齢者から継承する川の文化と伝統

奥四万十源流・清流中津川に「瀬と淵」を復活活用作戦



団体名 **大正中津川「やまびこ会」**

主な活動地域 高知県・四万十町の中津川集落や久木の森山風景林 一帯

目的

四万十川流域の特徴である※穿入蛇行によって、清流中津川にも多くの瀬と淵が存在する。これにはひとつひとつ固有の名前があるが、それを知る人も高齢になっている。そこで、今後の自然環境の保全活動の一環として、こうした文化・伝統を掘り起こし、川固有のアイデンティティとして後世に伝えていく。昨年、国の文化審議会で「大正奥四万十区域」として重要文化的景観に選定され、地元の保全意識も高まっている。

※穿入蛇行＝蛇行して北へ、南へと曲がりくねった谷の中を流れること。

実施内容

まず、地元の長老から瀬と淵の固有の名前、いわれについてヒアリングをする。中津川は旧町道に沿って流れているが、夏にははたが飛び交い、セラピー的ロードとして活用できるので、「久木の森山風景林」を中心に、旧町道から川に降りる小道の増設・整備を行う。そして風景林内に瀬と淵の全体の案内説明看板を最優先で設置する。上流から下流にかけて瀬と淵の数は100箇所程度。個別に設置する場所も利用の多い風景林内を優先する。完成後、看板設置記念こけら落としコンサートとして、従来より行われている「もみじまつりコンサート」を発展させた形の音楽祭を実施する。

選考委員のひとこと

四万十とはひと味違う、美しく冷たい水を湛える中津川。エメラルドグリーンの中津川には「へんろ淵」「とっくり淵」など面白い名前がついている。団体の人の「義務や使命感ではなく、自分たちが楽しいから活動をやっているんだ」という言葉が印象的だった。

TOTO 衛陶生産本部 Kさん記

ボランティアに参加しよう!

- ★瀬と淵の写真撮影 2009年10月～2010年7月
- ★瀬と淵に関するデータ取得(ヒアリング) 2009年11月～2010年2月
- ★風景林周辺の散策路の整備 2010年3月～6月
- ★看板発注と設置 2010年5月～9月



メンバーが経営するレストランでヒアリング



旧町道の中間にある風景林



左側が深く穏やかに流れる淵、右側が流れの速い瀬